

本部・部会だより

青年部会がボウリングを(10月25日 於:高田馬場グランドボウル)



挨拶:米持部会長



公式キャラクターのゲービー



～ 参加された皆様(懇親会)～



優勝:滝口様



準優勝:三國様



第3位:内山様

《第13回 税の川柳コンクール》

応募作品(102点)から税制税務委員会の役員と理事の皆様へ選考して頂きました。

- ・《中野法人会 会長賞》
・中身など 無くても減税 票になる
- ・《税制税務委員会推薦による 中野法人会 会長賞》
・家買った 喜びの後に 税の波
- ・《優秀賞》
・ぜいぜいと 国民の義務 息切らせ
- ・申告の 計算難易度 深刻だ
- ・なんでだろう 稼ぐと増える 所得税
- ・税負担 私の財布 ダイエット

第38回法人会 全国青年の集い(福井)



11月7、8日(当会から米持部会長始め5名参加)

音と光のフェスティバル



11月16日(於:平和の森公園)

東法連(第4ブロック 租税教室)



11月20日 米持部会長・吉永副部会長が参加(於:愛児の家)

“税の作文コンクール” 入賞作品

公益社団法人 中野法人会会長賞

【身近な税】

実践学園中学校 3年 内川 惣介

僕は小さい頃からよく怪我をする子でした。保育園に通っているときは、よく転んで擦り傷や切り傷が多かったり、自転車の後部座席に座っていて足を巻き “表彰式(12月4日 於:区役所内)” 込まれたこともあり。ラーメンのスープを胸にこぼし、火傷を負ったこともあり。小学生になると、右手の親指を骨折し、手術を受けたり、口を切ったりするなど、とにかくよく病院にお世話になっていました。



中学生になるまで全く気にしていませんでしたが、病院で診察を受けても入院しても薬局で薬をもらっても医療費がかからないということを知りました。

この恩恵を受けているのは僕だけではありません。昨年10月、祖母がくも膜下出血で倒れ、救急搬送されました。集中治療室にも入り、1ヶ月ほど入院していましたが、思ったほど医療費が高額ではなかったと母から聞きました。もちろん、救急車を、要請したことについて、お金を請求されることはありませんでした。

今まで、病気になれば救急車がきてくれて、事件が起これば警察官が飛んできて、それが当たり前

だと思っていましたが、今回、作文を書くにあたって税について学び、そこで働く人や物や設備などにも当然、お金がかかっていて、誰かが負担しなければ成り立たないことなのだ改めて考えさせられました。

今、私たちが安心して日々過ごしている生活は、国民ひとりひとりが納めた税金から成り立っていて、それが生かされていることなのだと思います。

今、日本は少子高齢化が進んでいて、これから先の将来、僕たちが大人になる頃には、働き手が減り、税収も減り、今のような生活が送れないのではという不安があります。そうならないためにも、働きやすい環境や子育てしやすい環境を作っていかなければいけないのだと思います。また、消費税のような誰もが税を負担するという仕組みも必要なのかもしれません。いずれにしても、もっともっと税に関心を持ち、税について学ぶことが、これからの社会を担う僕たちには必要なのだと感じました。

今回、税について調べてみて、すべての人が心も身体も健康で幸せに過ごすことができる社会の実現には税金が欠かせない存在であると思いました。

僕はこれから先の明るい未来のために、将来、しっかり税金を納められる大人になって、社会に貢献できる人になりたいと思います。